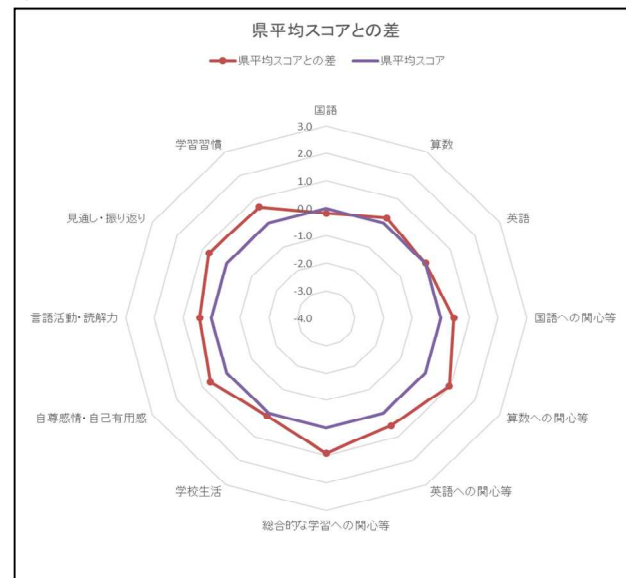


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立出雲郷小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○漢字の読みは概ね定着している。 ●学習指導要領の領域等別にみると、話す・聞く以外はすべて県平均正答率を下回っており、国語は総じて課題がみられる。特に、ローマ字を書くこと、主語・述語の関係を捉えること、目的に応じて表現を工夫して詳しく書くことについて課題が大きい。	・漢字会の取組を継続していく。 ・ローマ字を書く機会を増やす。 ・読書指導に引き続き取り組んでいく。 ・理由をつけて話したり、目的や相手に応じて表現を工夫したりする等、説明する力を育てていくための指導を工夫し、その力を各教科で活用していく取組を行う。
	算数	○図形領域に若干の課題がみられるが、その他の領域については定着がみられる。 ●数学的な事象について説明する力に課題がみられる。	・計算会やチャレンジタイムにおける計算力向上の取組を継続していく。 ・課題がみられる領域にかかわる復習を重点的にを行い、定着を図る。 ・少人数指導を適切に行い、発展的、補充的な課題を効果的に取り入れながら指導していく。
6年	国語	○昨年度課題のあった伝統的な言語文化と国語の特質について、概ね定着しており、成果がみられる。 ●目的に応じて文章を比べて読んだり、表現を工夫して詳しく書いたりする力については、引き続き課題がみられる。	・漢字会の取組を継続していく。 ・国語だけでなく、他教科における調べてまとめる学習を充実させ、読んだり書いたりする活動に取り組む。 ・読書指導に引き続き取り組んでいく。
	算数	○小数と整数の加法、乗法についてはおおむね定着している。 ●量と測定、数量関係の各領域は、県平均正答率に比べて著しく正答率が低く、大きな課題がみられる。	・計算会やチャレンジタイムにおける計算力向上の取組を継続していく。 ・児童の実態や単元の特性を見極め、TT指導や少人数指導指導を適切に配置して指導を充実させる。

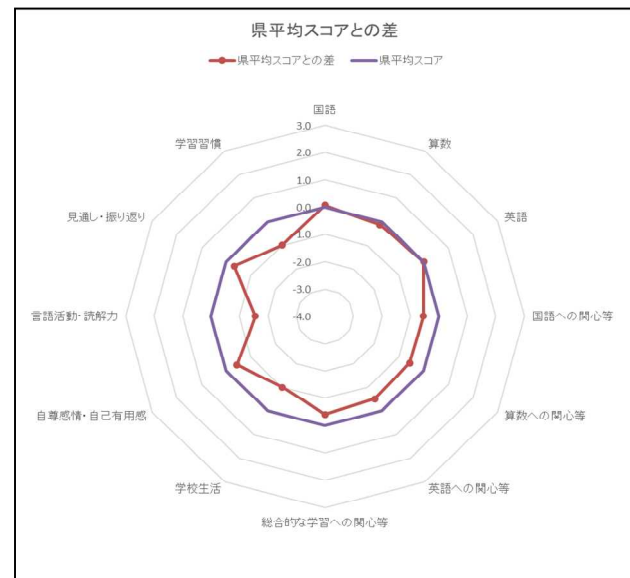
(2) 各学年・各教科の調査結果チャート
5年



(参考) 平均正答率		国語	算数
5年生	本校	57	63
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 57 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。



(参考) 平均正答率		国語	算数
6年生	本校	52	56
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 74 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○授業で、自分の考えを発表する機会が与えられたり、話し合いで様々な問題を解決したりしていると感じている児童の割合が高い。 ○各教科の勉強が好きだと回答する児童の割合が県平均に比べて高い。 ●地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると回答した児童の割合が約70%と、若干低い。	・話し合い活動や課題解決的な学習といった取り組みを継続し、より主体的に事象に関わっていくことのできる児童の育成に努める。 ・引き続きふるさと教育に取り組み、児童一人一人が地域とのつながりをより意識できるように支援していく。
	家庭学習に関わる事項	○家で、自分で計画を立てて勉強したり、予習・復習に取り組んだりする児童の割合が県平均に比べて高い。 ●平日10分以上読書をする児童の割合が、県平均に比べて若干低い。	・図書館活用授業と連携し読書の幅を広げさせる。 ・引き続き家庭学習が計画的に進められる指導を継続して行う。 ・自主学習のやり方、内容などをよく理解させ、反復練習だけでなく中身の濃い自主学習が取り組めるように支援する。
6年	授業改善に関わる事項	○学習を振り返る活動によく取り組んでいると考える児童が多い。 ●自分の考えを周りの人に説明したり、発表したりしている児童の割合が低い。 ●話し合う、探究する、発展的に取り組むといった、学びを深めていく活動によく取り組んでいると感じている児童が少ない。	・学習形態を工夫したり、話し合いの際の教師の支援をあり方を工夫していく。 ・特別活動の計画を見直し、折り合いをつけたり合意形成を図ったりする活動の充実を図る。
	家庭学習に関わる事項	●宿題を必ずする児童は県平均並みだが、家で学校の授業の復習をしている児童の割合が著しく低い。 ●平日、学校の授業以外に1時間以上勉強をする児童の割合が低い。	・家庭学習が計画的に進められる指導を継続して行う。 ・自主学習のやり方、内容などをよく理解させ、自主学習の習慣を身につけさせる。 ・携帯電話やスマートフォン、ゲーム機器の適切な使用について、保護者とともに粘り強く指導していく。

(4)生活・学習に関する意識調査の結果

